

# NGO紹介

## NPO法人 ボルネオ保全トラストジャパン(BCTジャパン)

〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-8 TEL&FAX 03-3471-4966

URL [www.bctj.jp](http://www.bctj.jp) E-mail [info@bctj.jp](mailto:info@bctj.jp)

### ボルネオ緑の回廊をつくり、生物多様性保全を目指す

ボルネオ島キナバタンガン川沿いにある10の保護区と保存林は、今やアブラヤシのプランテーションの海に浮かぶ孤島のようになっています。そこにはオランウータンやボルネオゾウ、テングザルなど多種多様な生物が棲んでいます。棲息地(保護区)が小さく分断化され、繁殖もその中でしかできないので、個体数の減少、遺伝子の多様性の喪失が心配されています。

一方、アブラヤシから採れるパーム油は植物油生産量世界第1位、良質で安価なので途上国の人だけでなく世界中の人々に欠かせないものです。

生物多様性保全のため、実効性のある対策として、保護区と保護区をつなぐ「ボルネオ緑の回廊」(2万ha)を作る活動を行っています。

対象地域のキナバタンガン川、セガマ川流域には保護区、保全林は総計約12万haありますが、「ボルネオ緑の回廊」でつなげるこ

とができれば、ボルネオゾウやオランウータンなど大型哺乳類も自由に移動することができ、パートナーも広い範囲から選ぶことができます。

プラットホームとなるのが、ボルネオ保全トラスト(BCT)。マレーシアの行政や資本家、日本の企業などが参加しているサバ州トラスト法に基づく団体で、免税措置を受けています。緑の回廊対象地を確保するために、①違法に開拓されている土地の接収、②対象地の所有者へ寄付のお願い、③小規模農家が持つ土地は購入といった多面的なアプローチをしています。土地所有に関しては極めてセンシティブな問題なので、BCTジャパンは土地購入資金を日本国内で募り、それをBCTに「土地購入資金」として寄付、BCTが土地の名義を持ちます。

日本人もパーム油を年間3.7L(10㎡の土地から採取できる量)を消費しています。自分たちの暮らしが熱帯雨林の生態に直接影響を与えている自覚をもち、生物多様性保全活動を行っていきたいと考えています。(事務局長 森井真理子)